

1. 作業名 (機械・設備)	2. 危険性又は有害性と発生のおそれのある災害	3. 既存の災害防止 対策	4. リスクの見積り		5. リスク低減措置案		6. 措置案想定リスク の見積り		7. 対応措置		8. 備考 (残留リスクについて)
			可能性	重篤度	可能性	重篤度	可能性	重篤度	実施日	次年度 検討事項	
中間処理(化学処理)											
化学処理 (化学)	エアハルプを駆動作させで配合バランスに狂いが生じ、異常反応を起して爆発し、近くで点検していた作業員が全身を打撲する。	・運転状況の常時監視(レベルセンサー) ・点検時有毒マスク着用	2	1	6	III (9)	1	1	6	II (8)	H19 インタロックの設置
最終処分											
重機作業	作業員が乗降扉を開めずかつジャントベルトを着用しないまま作業場へ移動する時、不整地路盤で重機が大きいバウンドし車外へ投げ出され、全身を強打する。	重機作業マニュアルと安全マニュアル	1	2	10	IV (13)	1	1	10	IV (12)	
共通事項(保全・点検)											
保全 (廃油・化学)	ストレーナー清掃時、保護面をつけずに作業し顔に有害廃液が飛散し、乗傷を負う。	・清掃時、保護具着用 ・指差呼称	2	2	3	II (7)	2	1	3	II (6)	H19
保全 (廃油・化学)	機器類を分解し、部材が重く落下させ、足を打撲する。	・複製による分解清掃 ・指差呼称	2	4	3	III (9)	2	2	3	II (7)	H19
保全 (建設廃棄物)	重機のアタッチをクレーンで吊り上げた時、ワイヤーが強度不足だったため切断して落下し、アタッチの下端ととなる。	クレーンチェックの励行	2	4	10	IV (16)	1	1	10	IV (12)	ワイヤーの使用時間の把握
保全 (建設廃棄物)	廃却戸の修理時、移動梯子を使用している、滑り止め装置の設置を怠ったため、梯子が振れ作業員が落下し、全身を強打する。	足元の固定を確実に	2	2	10	IV (14)	1	1	10	IV (12)	複数人作業の実施
保全 (建設廃棄物)	廃却戸の修理中、活線の電源を切ることを怠り、作業をしたため、作業員が感電する。	中央制御室のメインスイッチを切る	2	2	10	IV (14)	1	1	10	IV (12)	複数の作業員の確認
保全 (建設廃棄物 ・他固形物)	草刈機を用いて作業員が草刈作業をする時、保護具(防護メガネ等)を着用していないので、地面の小石と草刈刃が接触し飛んできた小石が目当たり、失明する。	防護眼鏡の着用	2	4	10	IV (16)	1	1	10	IV (12)	
点検 (廃液)	タンク内を確認するためにタンク付風の梯子を上がっていた時、足元がすべりやすくなっているのを確認しなかったため、作業員が足を滑らせ、腰を打撲する。	昇降時の水濡れを確認	2	2	3	II (7)	1	2	3	II (6)	
点検 (廃油・化学)	高所での機器点検の際、安全帯のフックをかける場所がなく墜落し、全身を打撲する。	・単独による点検禁止 ・指差呼称	2	2	6	III (10)	1	1	1	I (3)	H19
点検 (廃油・化学)	安全争の点検中、突然弁が開き高温・高圧ガスが噴出し、作業員が全身を火傷する。	・点検・保全時、温度圧力確認(温度・圧力計) ・保護具着用	1	2	6	III (9)	1	1	6	II (8)	H19